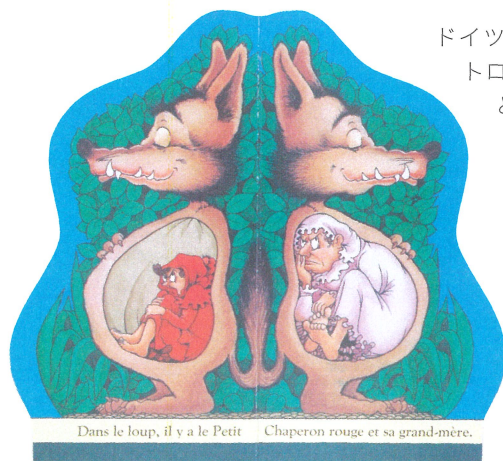
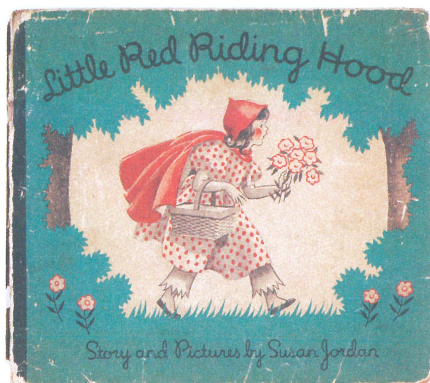




絵:ウォルター・クレイン 『青ひげの絵本』  
ロンドン、ジョージ・ラウトレッジ 1876年



絵:クロード・ボンティ 『オオカミのなか』  
パリ、レコール・デ・ロワジュール 1994年



絵と文:スーザン・ジョーダン 『赤ずきん』  
ラシーヌ(アメリカ)、ホイットマン 1934年



絵:マベル=ルーシー・アトウェル  
『ちいさな赤ずきん』  
パリほか、ネルソン 1930年



絵:マルレンカ・ストゥピツァ 『赤ずきん』  
リュブリャナ(スロヴェニア)、ムラティンスカ・クニェガ  
1954年



絵:イトウカ・ノヴァーコヴァー 『赤ずきん』  
出版地不詳、エリカ 1992年



ヘルメ・ハイネ  
『ぼくたちなかよしおきゃくさま』原画  
ケルン、ミッテルハウベ 1983年

レオ・レオーニ  
『はなにいろをぬるのはだれ?』原画  
ケルン、ミッテルハウベ 1981年  
Reprinted with the permission of the family of Leo Lionni

ドイツ北西部のケルンとボンの間に位置する  
トロースドルフ絵本美術館は、ドイツをはじめ  
とする世界中の絵本作家の原画や書籍を  
収蔵するヨーロッパで随一の絵本美術館  
として1982年に開館しました。その収集  
活動は、絵本の歴史的資料からはじまり  
現代作家の作品まで幅広く行われ、充実  
したコレクションを誇っています。本展では、「日本  
におけるドイツ2005/2006」を記念して、  
〈赤ずきんと名作絵本の原画たち〉と題し、同館の  
魅力的なコレクションを一堂にご紹介します。

**赤ずきんコレクション**●トロースドルフ絵本美  
術館のコレクションを特徴づける「赤ずきん」コレ  
クション。「赤ずきん」の熱心なコレクターであったヴァルト  
マン夫妻により寄贈されたこのコレクションには、19世紀  
初頭の貴重な童話集や20世紀前半の時代の雰囲気伝える  
興味深い絵本の他、「赤ずきん」をキャラクターにしたカード  
やパズルなどの小物、作家から夫妻に贈られたイラストや手  
紙などユニークなものも含まれています。誰もが知っている  
「赤ずきん」ですが、民話からはじまりペローやグリムの物語  
を経て、さまざまな解釈が生まれ発展してきました。挿絵に  
描かれる「赤ずきん」の姿も可愛い女の子から大人の女  
性などがあり、狼も恐ろしいものから弱々しいものまで登場  
して、バラエティーに富んでいます。本展では、そのコレク  
ションの中から約350点を展示し、過去200年もの間愛され続  
けてきた「赤ずきん」の魅力に迫ります。

**名作絵本の原画たち**●トロースドルフ絵本美術館所蔵の一  
万点余りの絵本原画の中から、日本でも人気の高いレオ・レオ  
ニが描いたネズミのフレデリックのイラスト、ヨゼフ・ヴィ  
ルコン『ミンケパットさんと小鳥たち』、ヘルメ・ハイネ『ぼ  
くたちともだち』をはじめ、日本ではあまり見ることのできな  
いドイツの注目作家を含む11人の原画など200余点を展示  
します。

**赤ずきん体験コーナー**●「赤ずきん」が身につける衣服は、時  
代や地域によってさまざまなスタイルで描かれてきました。  
赤ずきん体験コーナーでは、あなた自身が実際に絵本の中  
で描かれている「赤ずきん」と同じ格好になって、セットの森  
の中で写真を撮ることができます。(カメラはご自身で用意  
ください)

**絵本コーナー**●「赤ずきん」の絵本、レオーニ、ヤーノシュ、ヴィ  
ルコンなど出展作家の関連絵本が手にとってご覧いただけ  
る「絵本コーナー」もご用意いたします。展覧会を鑑賞した後、  
ゆっくりと絵本の世界を楽しむことができます。



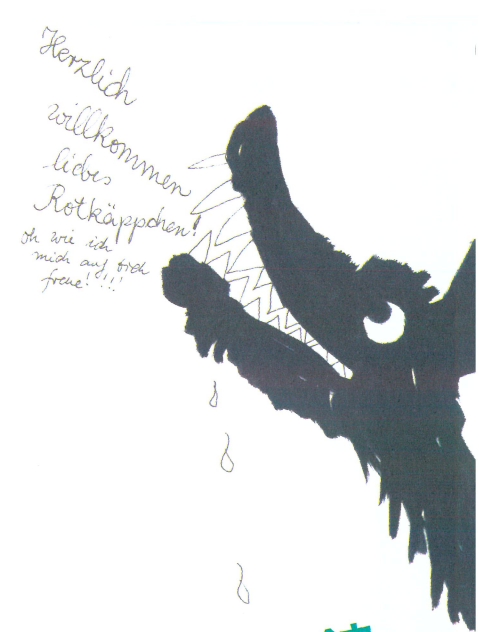
**刈谷市美術館**  
Kariya City Art Museum  
〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4丁目5番地  
TEL. 0566-23-1636 FAX. 0566-26-0511  
http://www.city.kariya.aichi.jp/museum/



## トロースドルフ絵本美術館展

# 赤ずきんと名作絵本の原画たち

2006.4.22(土) - 5.28(日)



**刈谷市美術館**  
Kariya City Art Museum

〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4丁目5番地  
TEL. 0566-23-1636 FAX. 0566-26-0511  
http://www.city.kariya.aichi.jp/museum/



*Hierzlich willkommen  
lieber Jäger!!!  
Wir freuen uns sooo  
sehr auf sich!*

休館日◎4月24日[月]、5月1日[月]、8日[月]、  
9日[火]、15日[月]、22日[月]  
開館時間◎9:00~17:00(入館は16:30まで)  
入場料◎一般800円(600円)、高大生600円(400円)  
\*( )は前売及び20名以上の団体料金。  
\*中学生以下は入場無料。  
\*前売券の販売先=サークルKサンクス(愛知・  
岐阜・三重・長野県下の各店舗)、チケットぴあ、  
ファミリーマート他でお求めください。  
\*前売券の販売は、4月21日[金]まで。  
\*身体障害者・精神障害者保健福祉・療育の  
各手帳の所持者及び付き添いの方(1名)は  
入場無料。手帳をご持参ください。

主催=刈谷市、刈谷市教育委員会、刈谷市  
美術館、朝日新聞社、ベルリン日独  
センター  
後援=ドイツ連邦共和国大使館、社団法人  
日本国際児童図書評議会(JBBY)、  
絵本学会、愛知県教育委員会

*Seid beide liebevoll umarmt!  
Bis ganz bald!  
Eure Peter & Biette*

ピネッテ・シュレーダー「ヴァルトマン夫妻宛ての手紙」



日本におけるドイツ2005/2006 記念

ピネッテ・シュレーダー「ヴァルトマン夫妻宛ての手紙」

トロースドルフ絵本美術館展  
赤ずきんと名作絵本の原画たち  
2006.4.22土-5.28日

刈谷市美術館  
Kariya City Art Museum



トロースドルフ絵本美術館

【会期中の催しもの】

1 講演会「広がる絵本の世界-イギリス、アメリカを中心に」

4月23日[日] 13:30→15:00  
講師:原昌氏(中京大学名誉教授)  
場所:美術館2階研修室  
定員:80名(当日受付・先着順)  
※聴講無料(要観覧券)

今のような絵本のスタイルは、19世紀後半から20世紀初頭にかけて確立され、中葉の革新期を経て多様化してきました。絵本の歴史をイギリス、アメリカの絵本を中心に取り上げ、用いられた技法を手がかりに絵本表現の広がり、その可能性についてお話いただけます。スライドを使った目でも楽しめる内容です。

2 ギャラリー・トーク ※聴講無料(要観覧券)

会期中の毎週火曜日(5月9日を除く) 14:00から約40分間  
担当学芸員による作品解説ツアー。1階受付前にお集まりください。

3 期間限定カフェ「ロートケッペン (Rotkäppchen)」

4月29日[土]・30日[日]、5月20日[土]・21日[日]  
11:00→15:00  
美術館隣・茶室〈佐喜知庵〉では、ドイツ風なお菓子など(有料)をお茶室の静かな雰囲気の中で楽しんでいただく期間限定カフェ「ロートケッペン」を開催します。観覧鑑賞の後、「赤ずきん」絵本を手に取りながらゆったりとしたくつろぎの時間をお過ごしください。  
なお、開催期間中、呈茶(お抹茶)は休みとなります。

4 つくる・みるプログラム

I 「パタパタきせかえカード」 ※事前申し込み必要

①5月5日[金] 10:00→12:00  
②5月5日[金] 14:00→16:00  
対象:5才→小学2年生  
定員:24名  
講師:山口百子さん(美術家)  
参加費:200円(レクリエーション保険+材料費)  
◎赤ずきんや物語の登場人物を描いた後、それをもとにパタパタと顔や服が変わるきせかえカードをつくりまします。世界中にいるいろな「赤ずきん」がいるように、あなただけのオリジナル赤ずきんをつくりまします。

II 「ガラスでシアター」 ※事前申し込み必要

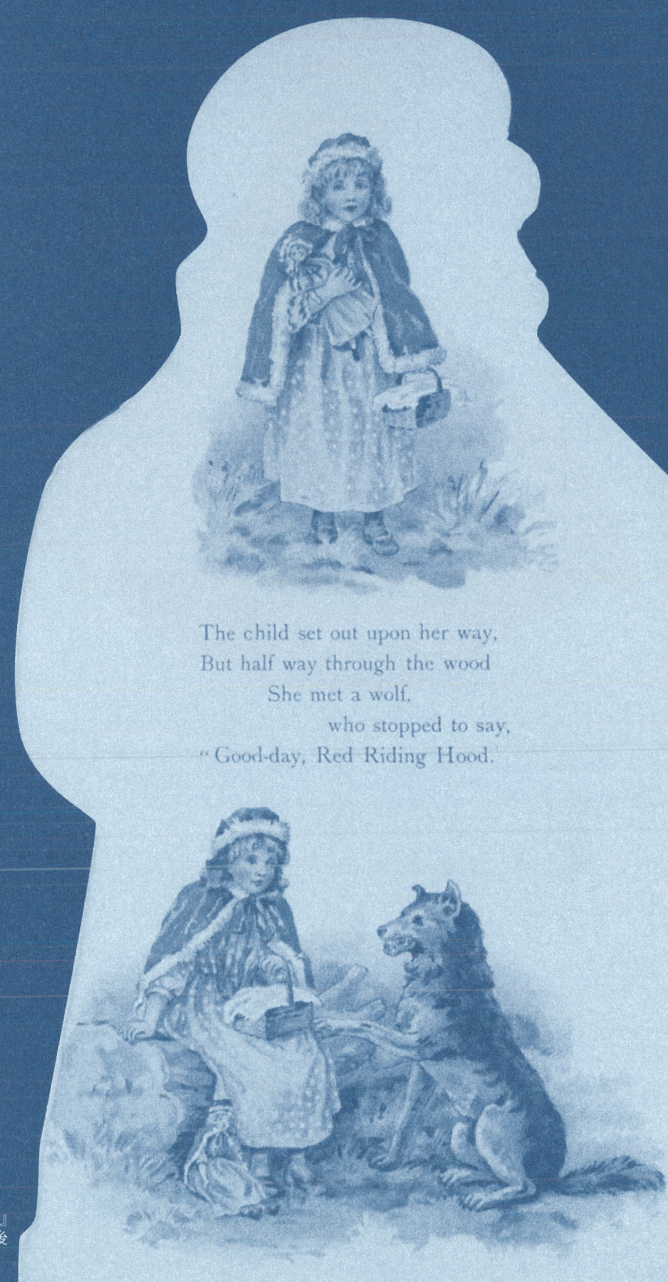
5月13日[土] 10:30→15:30  
対象:小学3年生→高校生(要観覧券)  
定員:20名  
講師:鈴木理代さん(ガラス作家)  
参加費:400円(レクリエーション保険+材料費)

◎あなたが考えた赤ずきんはどんな子でどこへ行くの? それで何が好き? みんなの赤ずきんが集まって、新しいお話が生まれます。円状のガラスに絵を描いて、それを映したら、、、そこにはどんな世界が広がっているのでしょうか。

絵:作者不詳 『赤ずきん』  
ニューヨークほか、ラファエル・タック&サンズ 1900年前後

III 「ジオラマ赤ずきん」 ※事前申し込み必要

5月14日[日] 10:00→16:00  
対象:小学3年生→中学生  
定員:24名  
講師:山口百子さん(美術家)  
参加費:200円(レクリエーション保険+材料費)  
◎観覧を鑑賞した後、ひみつの地図を手がかりに「宝物」を探しに行きます。探し出した「宝物」を使って「赤ずきん」の一場面をジオラマで制作します。



The child set out upon her way,  
But half way through the wood  
She met a wolf,  
who stopped to say,  
“Good-day, Red Riding Hood.”



絵:ギュスターヴ・ドレ 『ペロウ童話集』  
パリ、J.エツェル 1862年



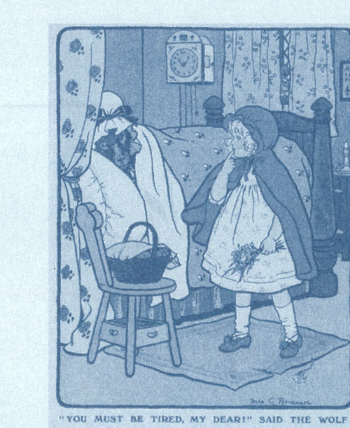
絵:アンリ・モラン 『ペロウ童話集-ちいさな赤ずきん』  
ペジエ(フランス)、ラ・メゾン・デュ・カイエ 出版年不詳



絵:ディヴィカ・ランドロヴァ 『赤ずきん』  
プラハ、アルティア 1959年

IV 「マグネット・ドール」 ※当日受付(要観覧券)

5月14日[日]  
10:00→15:30(所要時間約30分。材料がなくなり次第終了)  
対象:どなたでも(ただし未就学児は保護者同伴)  
参加費:200円(レクリエーション保険+材料費)  
◎マグネットシートをつかって、お気に入りの赤ずきんをつくりまします。服やずきん、くつなどもつくって、重ねてペタンと冷蔵庫などに貼れるきせかえ人形のできあがりです。



絵:ローザ・C.パデリック  
『おはなしを聞かせて』  
ロンドン、ヘンリー・フラウデ&ホダー&スタウトン 1914年頃

I~IIIの申し込み方法

「往復はがき」か「FAX」にて、参加したいプログラム名(IIは時間帯も明記)、参加者名(ふりがな)、保護者名、住所、TEL/FAX、年齢(学年)、学校名をご記入のうえ、美術館までお申し込みください。返信用はがきにも住所と名前を記入してください。※定員を超えた場合は抽選とし、結果をお知らせします。しめきりは、それぞれの開催日の10日前(必着)まで。

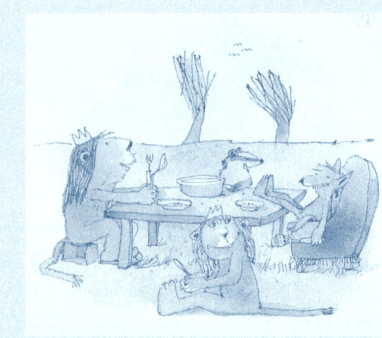
あて先 〒448-0852 刈谷市住吉町4-5  
刈谷市美術館 FAX.0566-26-0511

【みみより情報】 刈谷市美術館・高浜市かわら美術館では、同じ会期にそれぞれ絵本展を開催することから両館連携して入場料の特別割引をします。どちらかの美術館で当日券をお求めいただきましたら、一方の美術館の特別割引券を差し上げます。うらかな春の1日、2館をめぐって絵本の世界を旅してみませんか?  
高浜市やきもの里かわら美術館  
(問合せ先TEL.0566-52-3366)

創刊50周年  
みんなのともだち「こどものとも」の絵本展  
4月22日(土)~5月28日(日)



ヨゼフ・ヴィルコン  
『ソウは誰と握手するの?』原画  
ケルン、ミッデルハウベ 1982年



ヤーノシュ『ライネケきつね』原画  
ケルン、セルゲス・ミーディエン出版 1998年  
Archiv JANOSCH film & medien Ag, Berlin /  
Dauerleihgabe an Burg Wissem.  
Bilderbuchmuseum der Stadt Troisdorf

